

「災害に強い森づくり」事業（第3期）実績 概要

作成：農政環境部農林水産局豊かな森づくり課

| 事業名 | | 事業概要 | 実績 |
|--------------------|---|---|---|
| 緊急防災林整備 | 斜面対策 | 山地災害危険地区の人工林が大半を占める危険渓流の斜面において、間伐木を利用した土留工を設置する「斜面对策」により、表土の流出防止を図っている。 | (第1期) 計画 11,700ha 実績 12,130ha (第2期) 計画 5,600ha 実績 6,144ha (第3期) 計画 4,500ha H29 末実績 2,062ha |
| | 渓流対策 | 危険渓流の谷筋では、流木・土石流による被害を軽減するための災害緩衝林の整備や簡易流木止め施設を設置する「渓流対策」を進めている。 | (第1期) 計画 155 箇所 実績 155 箇所 (第2期) 計画 178 箇所 実績 178 箇所 (第3期) 計画 68 箇所 H29 末実績 30 箇所 |
| 里山防災林整備 | 集落裏山にある危険な里山林を対象に、森林整備や丸太柵工等の簡易防災施設整備を行い、土砂災害の抑制を図っている。 | (第1期) 計画 2,000ha 実績 2,217ha (第2期) 計画 1,500ha 実績 1,837ha (第3期) 計画 1,000ha H29 末実績 577ha | |
| 針葉樹林と広葉樹林の混交整備 | 広範囲にわたる手入れ不足の高齢人工林をパッチワーク状に部分伐採し、その跡地にコナラ、ヤマザクラ等の広葉樹を植栽し、風水害等に強い多様な森林への誘導を図っている。 | (第1期) 計画 1,000ha 実績 994ha (第2期) 計画 1,000ha 実績 1,014ha (第3期) 計画 1,000ha H29 末実績 390ha | |
| 野生動物共生林整備 | 野生動物による農作物被害等が甚大な地域を対象に、人と野生動物の棲み分けを図るバッファゾーン整備と広葉樹林整備や植生保護柵設置などの共生林整備を実施している。 | (第1期) 計画 1,000ha 実績 1,092ha (第2期) 計画 1,800ha 実績 1,954ha (第3期) 計画 1,834ha H29 末実績 690ha | |
| 住民参画型森林整備 | 地域住民やボランティア団体等による自発的な集落裏山の危険木伐採や土砂流出防止柵設置、バッファゾーン整備活動等に対し、資機材の購入費及び委託費等に対する支援を実施している。 | (第2期) 計画 120ha 実績 144ha (第3期) 計画 120ha H29 末実績 45ha | |
| 都市山防災林整備 [3期新規] | 六甲山系において、立木が過密状態にあり、下草が生育していないなど危険な森林を対象に、防災機能を強化するための森林整備や土留工の設置等を実施している。 | (第3期) 計画 200ha H29 末実績 87ha | |